

(参考様式)

- ・下記の設問例を参考に、各企業において適宜設定してください。
- ・本調査はP10～12の奨励事業の取組事項の2～6に取り組む前に実施してください。
- ・調査の実施状況については実績報告書別紙1にてご報告いただきます。実際に回答した調査票をご提出いただく必要はありませんが、必要に応じ提出をお願いする場合があります。

#### 社内意向調査

この調査は、今後、社内の「不妊治療・不育症治療のための休暇・休業制度」等を整備するに当たり、皆様にご意見をうかがうために実施するものです。ぜひご協力ください。

#### Q1

不妊治療や不育症治療を取り巻く以下のような状況について知っていましたか。

- ・約5.5組に1組が不妊治療を受けている。
- ・16人に1人が体外受精で生まれている。
- ・不妊治療経験者のうち16%の方が仕事と両立できずに離職している。
- ・日本で不育症に悩む人の数は正確にはわかっていないが、毎年妊娠する人のうち、数万人が不育症の可能性があると考えられている。

- ア すべて知っていた
- イ いくつか知っていた
- ウ すべて知らなかった

#### Q2

会社で不妊治療や不育症治療について話したりすることはありますか。

- ア ある
- イ ない

#### Q3

会社に「不妊治療・不育症治療のための休暇・休業制度」を整備する必要があると思いますか。

- ア 必要があると思う ⇒Q4へ
- イ 必要と思わない ⇒Q8へ

#### Q4

必要があると思う理由は何ですか。

- ア 自身が不妊治療や不育症治療を行いたいから
- イ 自身が将来、不妊治療や不育症治療を行うことを考えているから(可能性があるから)
- ウ 不妊治療や不育症治療を取り巻く環境を知り、必要だと思うから
- エ その他 ( )

Q 5

「不妊治療・不育症治療のための休暇・休業制度」はどのようなものだと思いますか。

- ア 「不妊治療・不育症治療のための休暇・休業制度」の名称での整備
- イ 利用する際のプライバシーを配慮するため、既存の特別休暇制度の取得要件への追加
- ウ その他（ ）

Q 6

不妊治療や不育症治療を両立する上で、休暇・休業制度のほかに会社に整備してほしい制度はありますか（複数回答可）。

- ア テレワーク
- イ フレックスタイム制
- ウ 時差出勤
- エ その他（ ）
- オ 特にない

Q 7

「不妊治療・不育症治療のための休暇・休業制度」の利用促進のために実施してほしいことはありますか。

- ア 社内研修等による制度利用に対する職場の理解の促進
- イ 社内研修等による上司の理解の促進
- ウ 制度利用時の賃金補償
- エ その他（ ）
- オ 特にない

Q 8

必要と思わない理由をお聞かせください（自由記述）。

（ ）